

**利便性、快適性、安全性を
高める生活環境インフラ整備**

八雲町内には、札幌と函館を結ぶ国道5号、日本海側の幹線である国道229号、太平洋側と日本海側を結ぶ国道277号の3路線が通り、交通の要衝となっています。道央自動車道は、町内に八雲インターチェンジ（平成18年）と落部インターチェンジ（平成21年）が整備され、道央圏と道南圏のアクセスはさらに利便性が向上しています。

北海道新幹線は平成28年3月までに新青森〜新函館（仮称）間が開通します。函館〜札幌間は平成24年度に認可・着工し、平成47年度までの開通に向けて工事が始まっています。八雲町には新八雲（仮称）駅が設置される予定です。

相生町のシビックコア地区にはすでに国の合同庁舎が建設され、町立図書館や相生公園などと一体となった空間整備が進められています。

公営住宅については、八雲町公営住宅等長寿命化計画を策定して既存住宅ストックの有効活用を図るとともに、高齢化や核家族化に対応した住環境の整備を進めています。

消防本庁舎は平成23年度に移転改築が完了し、町内の消防・救急体制はさらに充実しています。

循環型社会に向けた取組みは、ごみの減量化と再資源化を図るため、生ごみの分別収集を八雲地域市街地で開始し、資源の有効利用を進めています。また、バイオマス処理施設では水産廃棄物や生ごみ、下水汚泥

等を発酵処理、堆肥を製造・販売しています。

八雲地域市街地の下水道整備率は約99%で、平成26年に整備完了を予定しています。また、遊楽部川をはじめとする河川については、治水対策と合わせて自然と触れ合うことができる水辺空間にジョギングコースなどが整備されています。



●道央自動車道



●国道277号線

檜山地域と渡島地域を結ぶ国道277号は、将来の北海道新幹線開業効果を周辺にもたらす上でも重要な路線であり、通行の安全を確保するために改良工事が進められている。

●JR八雲駅

札幌と函館を結ぶ函館本線の主要駅の1つ。特急列車で札幌まで約2時間30分、函館まで約1時間。

※北海道作成のパンフレット



●道央自動車道・八雲パーキングエリア

平成21年オープンした八雲パーキングエリアは、高速道路から降りることなく、隣接する道立公園噴火湾パークとともにハイウェイオアシスとして一体的に利用できる。八雲パーキングエリアから一般道への出入りや流入してきた方向へのUターンはできない。

●北海道新幹線

国の整備計画により札幌延伸が決定している北海道新幹線の新八雲（仮称）駅は、現在のJR八雲駅から約3km離れた春日地区に設置される計画となっている。町内では立岩地区の立岩トンネル工事が平成26年度から開始。



●出雲通・立体交差

JR 函館線によって分断されている市街地を結ぶ立体交差。国道5号と相生町シビックコア地区とのアクセス向上が図られた。



●リサイクルセンター

分別収集したゴミを資源としてリサイクルしている。平成24年度からは生ごみと燃やせるごみの分別収集も開始。



●IT 町民サポートセンター

毎月第2第4木曜日はIT 町民サポートセンターの日として、公民館パソコン室や「はびあ八雲」情報交流室で、パソコンのトラブル等の相談に応じている。



●防災避難訓練

落部地区の津波避難訓練は落部連合町内会主催で実施。協働のまちづくりの理念に基づいた町内会の取組みの一つである。また町内会や役場・消防署・警察署・自衛隊など関係団体合同により八雲町総合防災訓練も行なわれる。



●八雲町消防本部

八雲町全域への出動に迅速に対応できるよう、国道5号と道道42号に面した利便性の良い場所に移転改築された消防本部庁舎。



●町営住宅

八雲町では平成26年1月現在、公営住宅21団地631戸、特公賃住宅1団地8戸、町単費住宅3団地16戸、改良住宅1団地40戸、合計26団地695戸が管理されている。既存住宅の有効活用を図るとともに、高齢者や単身世帯に対応した住宅整備を進めている。



●植林事業

町主催の八雲町植樹祭のほか、ひやま漁協熊石支所女性部や八雲町漁協の「おさかなの森づくり運動・植樹祭」など、町民や漁業者が参加する植樹活動が行われている。



●下水道

八雲地域市街地での下水道整備は重点整備が一段落し、落部地区の集落排水は整備完了。熊石地域の下水道整備は鳴神地区を整備中。



●交通安全啓発活動

毎年春と秋の全国交通安全運動期間には、八雲町内でも交通量の多い国道5号などで交通安全啓発活動が行われている。



●花いっぱい運動（花壇見学会・街路整備）

八雲町花いっぱい運動推進委員会は家庭や地域、職場、学校で管理する花壇のコンクールを開催し、模範花壇の見学会を実施している。また他団体や地域と連携して、緑と花のあふれるまちづくりをめざし、駅前花壇や街路などに花いっぱい運動をすすめている。



●バイオマス処理施設

協同組合方式で、水産廃棄物や水産・加工残渣、生ごみ、下水汚泥等を受け入れて発酵処理で堆肥を製造・販売している。



●交通安全啓発活動

毎年春と秋の全国交通安全運動期間には、八雲町内でも交通量の多い国道5号などで交通安全啓発活動が行われている。



●花いっぱい運動（花壇見学会・街路整備）

八雲町花いっぱい運動推進委員会は家庭や地域、職場、学校で管理する花壇のコンクールを開催し、模範花壇の見学会を実施している。また他団体や地域と連携して、緑と花のあふれるまちづくりをめざし、駅前花壇や街路などに花いっぱい運動をすすめている。



●遊楽部川桜堤／環境整備

町内最大河川である遊楽部川は、堤防拡張などの改修工事に合わせて兩岸周辺が公園として整備された。遊楽部公園に隣接する河畔兩岸の堤防には桜やツツジを植栽するとともに、ジョギングコース（2,549m）やサイクリングロード（3,235m）が整備され、町民の憩いの場として活用されている。